

30 年度施策の取り組みの進捗状況について

【質問】

市の標準学力調査で大きな伸びが見られた。

全国学力学習状況調査（小6年、中3年）についての結果はどうなっていますか？

【回答】

9月25日（水）の定例教育委員会ののち、公表します。

【質問】

〔基本目標4 教育・保育施設の質の向上／4. 幼稚園・保育所・小学校の連携〕にも関連することですが、補助員配置事業の充実によってきめ細かな指導ができていることは理解できます。また、定期的な保幼小の連絡会が行われていることも理解できます。

今回の新学習指導要領でも、強調されていますが、保幼小連携によるカリキュラムの充実といった面から「アプローチカリキュラム」「スタートカリキュラム」の推進状況はどうなっていますか。保幼小中をつなぐ大切なものとして（コア）カリキュラムが絶対に必要になります。「小1プロブレム対策学級補助員」等の条件整備等のハード面とカリキュラムのソフト面の両面からの取組が不可欠だと思います。

【回答】

（推進状況）

- 全小学校1学年で「スタートカリキュラム」を意識したカリキュラムを作成しています。

（例）

生活科	「みんななかよし」「ともだちたくさんつくろう」
道徳	「がっこうだいすき」「しょうがっこうのひみつ」
学活	「道具のかたづけ」「給食当番」「交通安全」
体育	「ゲーム たからとりおに」
図工	「しぜんとなかよし」
音楽	「あつまれおんがくなかま」
国語	「はきはき あいさつ」「よろしくね」 等

- 小学校入学前に、卒園予定の園児が小学校1年生の授業を受ける保幼小連携授業を行っている小学校があります。保幼小が連携し、「アプローチカリキュラム」と「スタートカリキュラム」の系統性を図った授業を実践しています。

（今後に向けて）

- 「スタートカリキュラム」を学校全体で編成し、組織的に取り組む必要があると考えています。
- 保幼小連絡会は、子どもの実態、配慮事項等を中心とした内容になっているので、カリキュラムについての連携も図っていきます。